

Passion & Technology



個人投資家向け会社説明会

2026年2月26日

東証プライム（証券コード：1975）



当社ウェブサイト



当社決算説明会書き起こし
(ログミーfinance)

高須 康有 Yasutomo Takasu

(株式会社朝日工業社 代表取締役社長)

1953年 兵庫県生まれ

1976年 近畿大学を卒業後、当社入社

1986年 代表取締役社長に就任

【メッセージ】

誠実さと高度な技術力をもって、
今後もさらに信頼され必要とされる
存在であり続けます。



- | | | |
|---|--------------------|------|
| 1 | 会社概要 | P.4 |
| 2 | 朝日工業社の強み | P.12 |
| 3 | 朝日工業社の成長戦略 | P.18 |
| 4 | 朝日工業社の業績と資本政策・株主還元 | P.25 |
| | 参考資料 | P.34 |



Passion & Technology
 朝日工業社

1. 会社概要

会社名

株式会社 朝日工業社



本社本店ビル外観
(東京都港区浜松町)

Purpose (企業の存在意義)

情熱と技術で、世界をもっと最適に

Create the Best, Make it Better. With Passion and Technology.

事業内容



設備工事事業

設備に関わる工事をワンストップで提供
売上の9割以上を占める主要事業



機器製造販売事業

半導体やFPD (フラットパネルディスプレイ)
製造装置メーカー向けの精密環境制御機器や
ドライヤ装置などを自社で開発設計・製造・販売

株式

東京証券取引所プライム市場
(証券コード: 1975)
(業種: 建設)



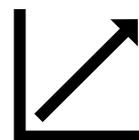
創業

1925年4月3日

Passion & Technology
朝日工業社

連結売上高

919億4,700万円
(2025年3月期)



連結従業員数

1,092名
(2025年3月31日)



■ オフィスビル、学校、病院、空港、半導体工場、データセンター、研究所等、様々な場所の空調、衛生などの設備の設計・施工。

業界での立ち位置

総合建設会社（ゼネコン）

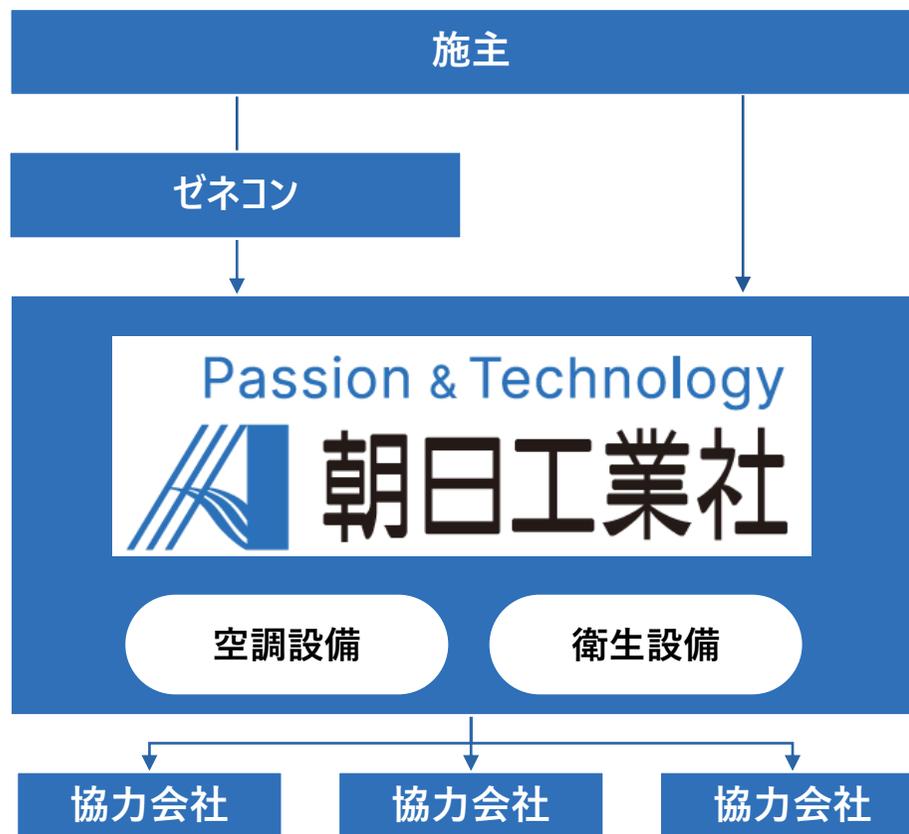
建物の基礎となる土木、建築工事の総合的な取りまとめを行う。

設備工事会社（当社）

建物内部の空調、衛生、電気などの設備工事の取りまとめを行う。



ビジネスモデル (新築工事・リニューアル工事)



主な施工実績①

ビジネス環境

オフィスビル、
官公庁舎 等



世界貿易センター
ビルディング南館

生活・文化環境

学校、ホテル、体育施設、
水族館、プール 等



ヒルトン横浜

生産環境

工場、研究所、
データセンター 等



JASM 第一工場

主な施工実績②

健康・医療環境

病院、介護施設等



©株式会社 伸和

近畿大学病院

(外来棟・臨床研究棟・ペDESTリアンデッキ)

交通・通信環境

空港、駅、テレビ局等



広島駅ビル

流通環境

ショッピングモール、
デパート、商業施設、
市場、物流倉庫等



SAKURA MACHI Kumamoto

半導体やFPD (フラットパネルディスプレイ)製造装置メーカー向けの精密環境制御機器やドライヤ装置などを自社で開発設計・製造・販売。

開発・製造拠点 (機器事業部・豊富工場)



開設

2007年5月

※機器事業部の設立は1984年1月

所在地

千葉県船橋市豊富町616-8

敷地面積

26,785m²

主な製品

- ・半導体露光装置用エンバイロメンタルチャンバ



- ・FPD露光装置用エンバイロメンタルチャンバ



- ・精密空調機ASCシリーズ



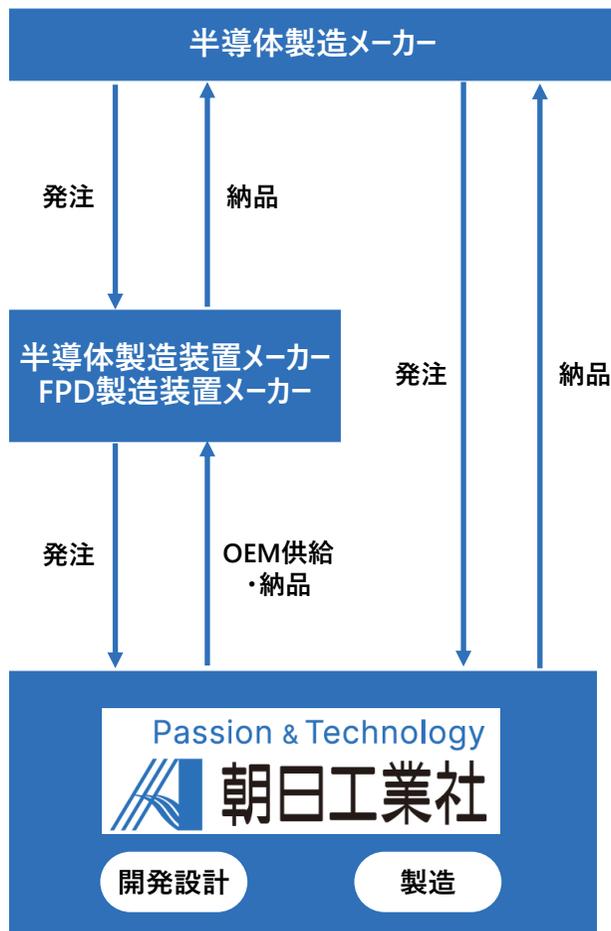
- ・ドライヤ装置 (外観)



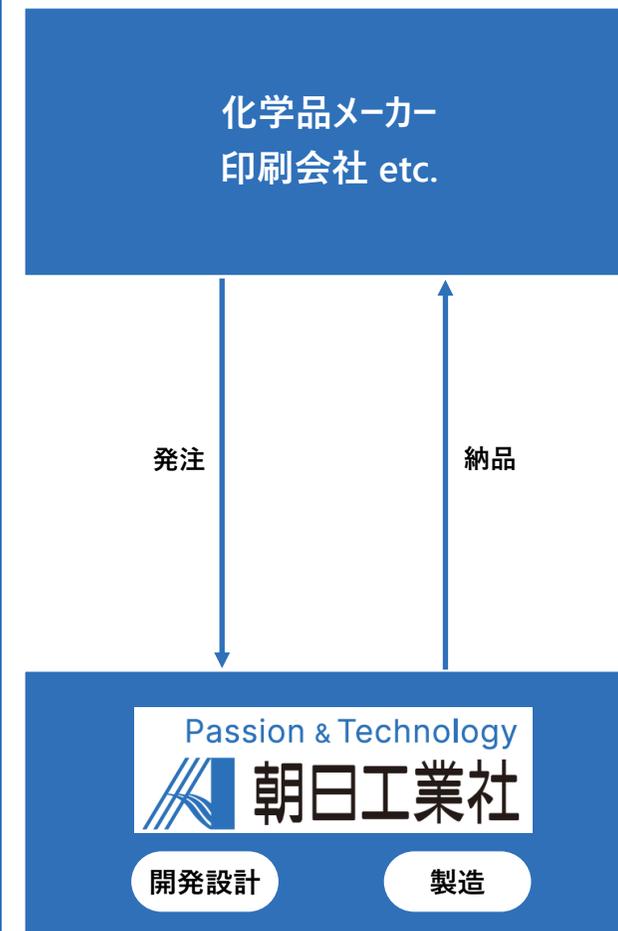
- ・その他

クリスタルジェット、高効率顕熱空調機など

ビジネスモデル① (精密環境制御機器の場合)



ビジネスモデル② (ドライヤ装置の場合)



納入実績

累計11,400ユニット以上の製品を国内外に納入。





Passion & Technology
 朝日工業社

2. 朝日工業社の強み

- 同業で唯一、機器製造販売事業というメーカー機能を有し、設備と機器の両面からお客様をサポート。
- 他社にない一社完結型ソリューションを提供。

実績事例：化学品メーカーの工場

設備工事

機器製造販売

シナジー

空調・衛生設備工事
機器の設置工事



- ✓ 工場の設備工事 + 装置供給を一括受注
- ✓ お客様の調整負担・コスト削減に貢献
- ✓ 競合他社との差別化を実現

ドライヤ装置の開発
設計・製造・販売



100年間で培われた「空気・水・熱」の技術力①



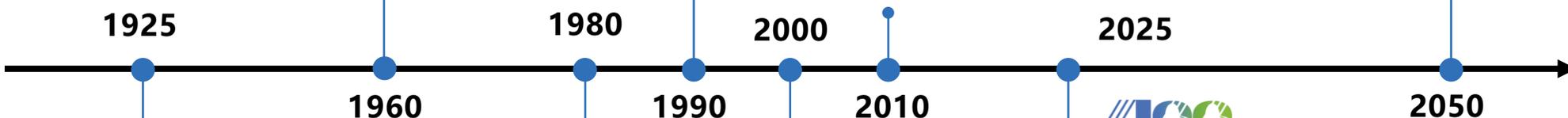
創業者 高須茂

1967年
本社を東京に移転

1996年
台湾に現地企業との合併による
現地法人「亞太朝日股份有限公司」
を設立

2012年
マレーシアに現地法人
「ASAHI ENGINEERING MALAYSIA
SDN.BHD.」を設立

2050年
長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」
ワクワクする未来をカタチに
～Imagination & Creativity～



1925年
大阪市北区において創業



当時の作業風景

1983年
技術研究所を開設
1984年
機器事業部を開設
1986年
北海道アサヒ冷熱工事
を設立

2003年
亞太朝日股份有限公司
を完全子会社化
2007年
機器事業部・豊富工場
を開設



2025年4月3日
創立100周年
2025年12月5日
つくば技術研究所を開所

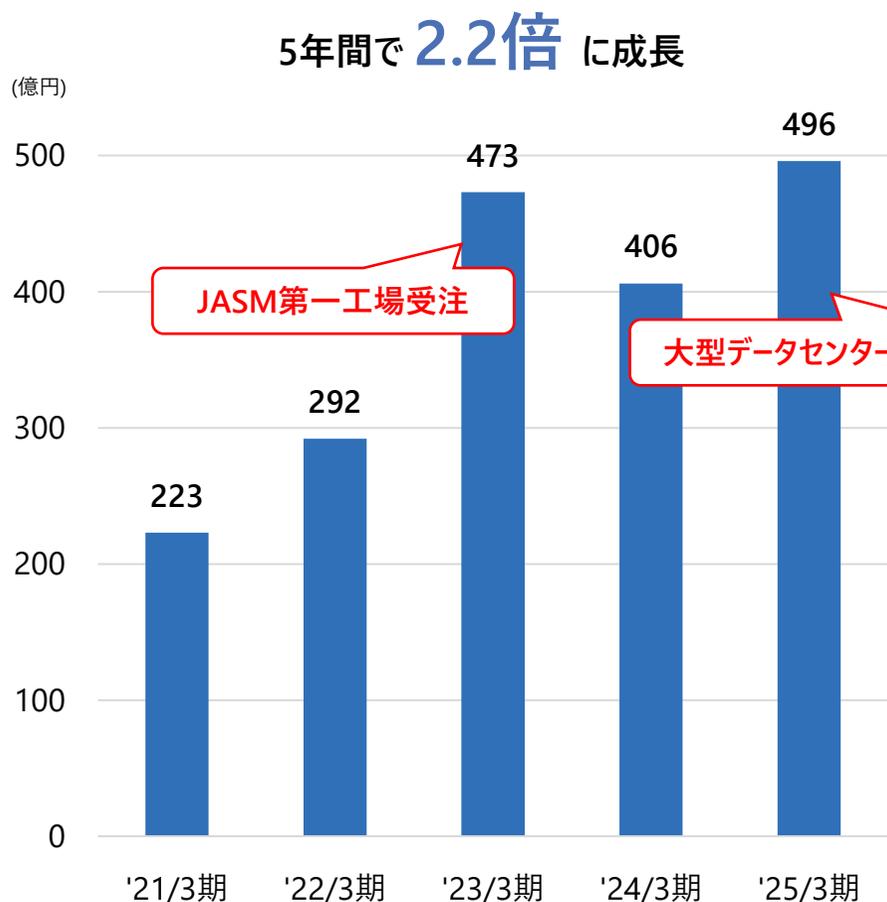


つくば技術研究所開所式

100年間で培われた「空気・水・熱」の技術力②

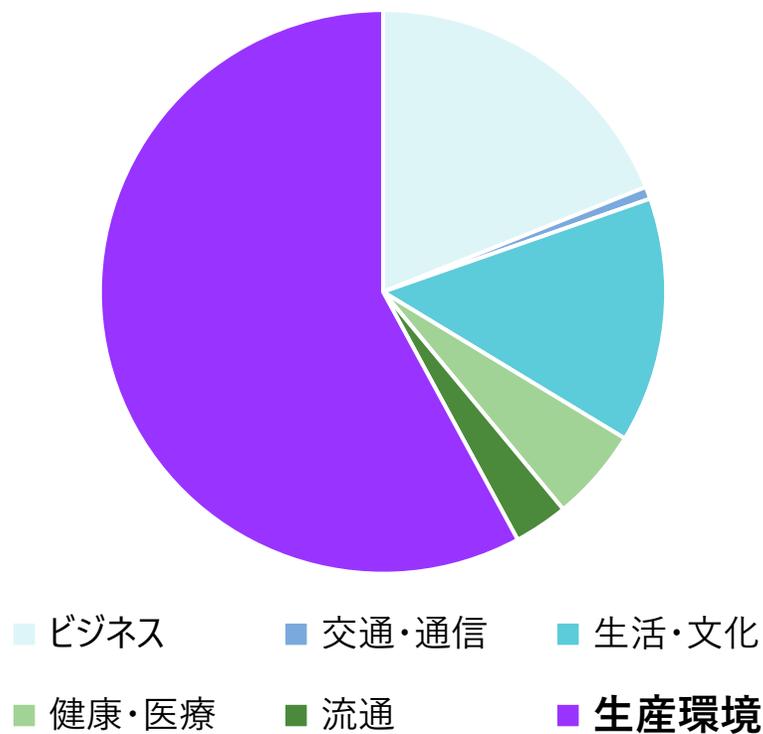
- 高度な技術力を要する生産環境施設(工場、研究所、データセンター)での受注を拡大。
- 特に半導体工場、データセンターでの拡大が顕著。

生産環境施設の受注高



受注高内訳(2025年3月期)

受注高の **58%** が生産環境施設

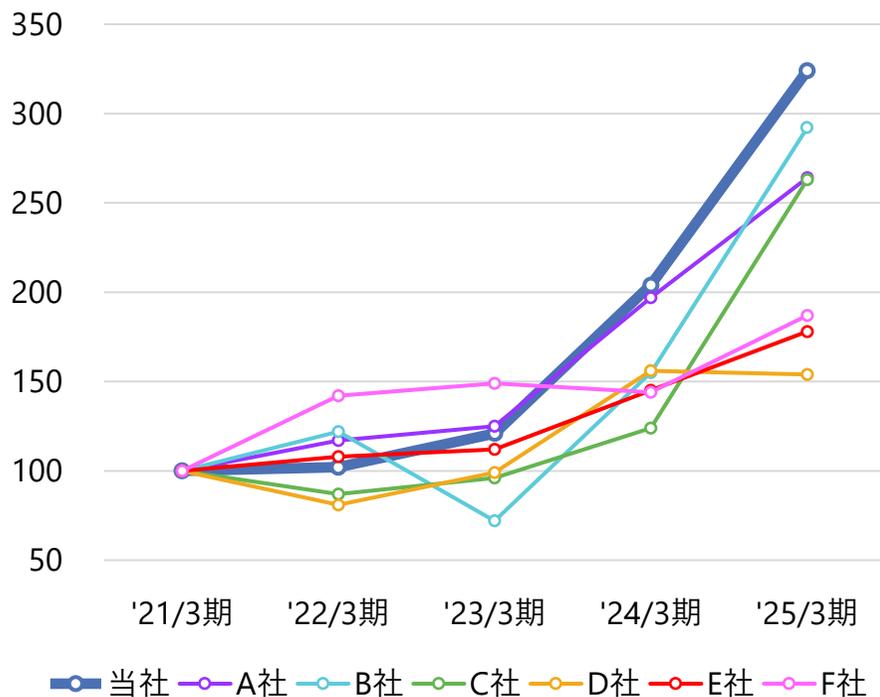


直近5年間の営業利益率の改善

5年間の営業利益、営業利益率の「**成長率**」は業界トップクラス。

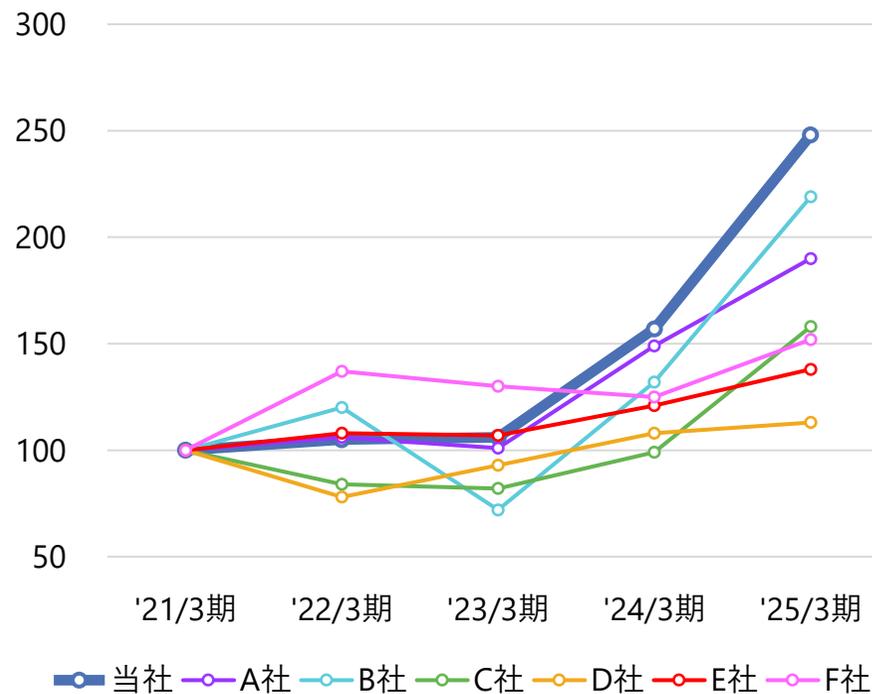
営業利益の成長率

5年間で **3.2倍** に成長



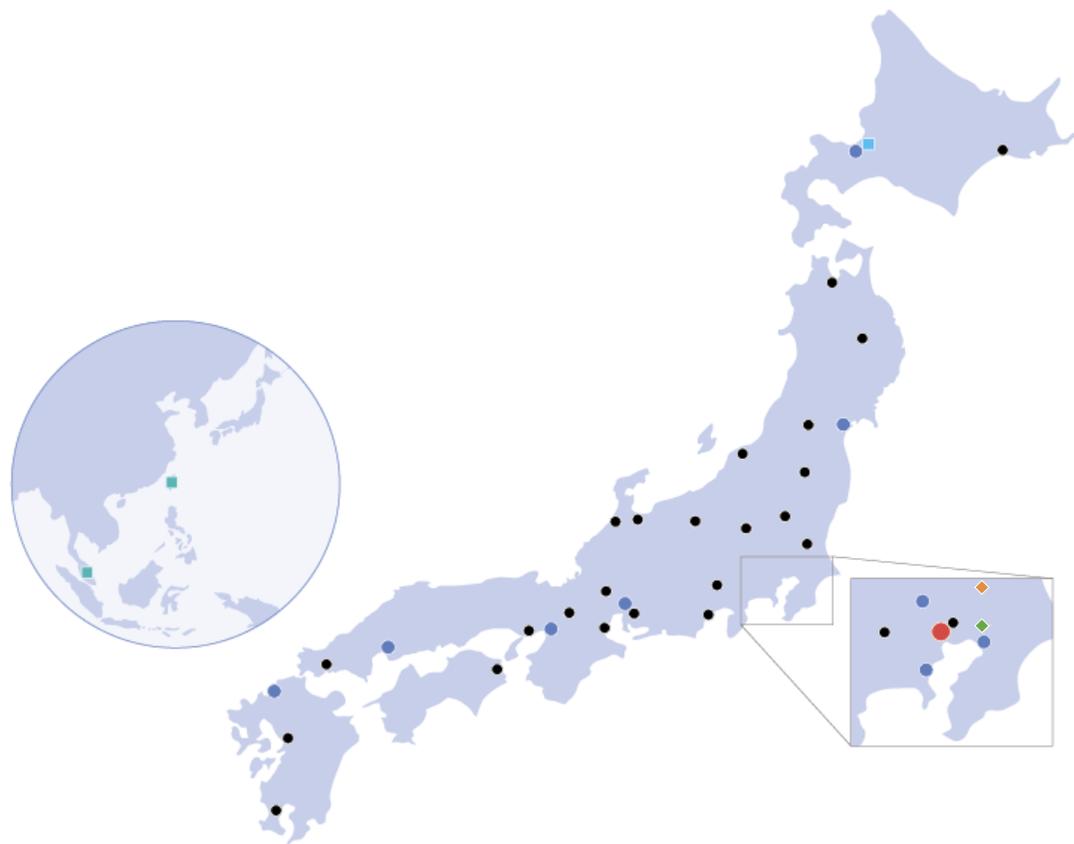
営業利益率の成長率

5年間で **2.5倍** に成長



注釈(1)：2021年3月期の営業利益・営業利益率を100とした指数の推移です。
注釈(2)：A社からF社は、空調・衛生設備專業の大手6社(東証プライム上場)のいずれかを示しております。

国内外拠点 (2025年12月末時点)



- 本社・本店
- 営業所・営業室
全国各地に26か所
- 大阪支店
- 北海道支店
- 東北支店
- 北関東支店
- 東関東支店
- 横浜支店
- 名古屋支店
- 中国支店
- 九州支店
- 国内グループ会社
北海道アサヒ冷熱工事株式会社
(札幌市)
- 海外グループ会社
亞太朝日股份有限公司
(台湾・台北)
ASAHI ENGINEERING
(MALAYSIA) SDN.BHD
(マレーシア・クアラルンプール)
- ◆ 機器事業部
- ◆ 技術研究所



3. 朝日工業社の成長戦略

提案型営業、現場DXの活用等により収益力・生産性を向上

高付加価値提案型営業の強化

- 特に生産環境施設向けに、付加価値の高い提案型営業を強化。
- オーダーメイド設計・施工により、効率的で高品質な生産環境を実現し、お客様のビジネス成功に貢献するとともに、当社の受注金額も上昇。

社員教育を通じた生産性向上

- 約1年9カ月にわたる技術系新入社員研修や、中堅社員研修を実施。
- OJTを通じて、若手社員を早期に即戦力化し、生産性向上に取り組む。

建設現場での取り組み

- タブレット型端末、自動墨出し機、3Dスキャナ等のDXツールの活用。
- 従来現場で行っていた配管や機器の組立作業を、あらかじめオフサイト拠点でユニット化してから現場に搬入する方式を採用。
- 現場での工数を約17%削減^{※1}し、現場作業の平準化・短工期化を実現。
- 良好な環境での作業により、安全性・施工品質の向上も期待される。

注釈(1)：モデル現場での当社試算の削減率を記載しております。



タブレット型端末による施工管理

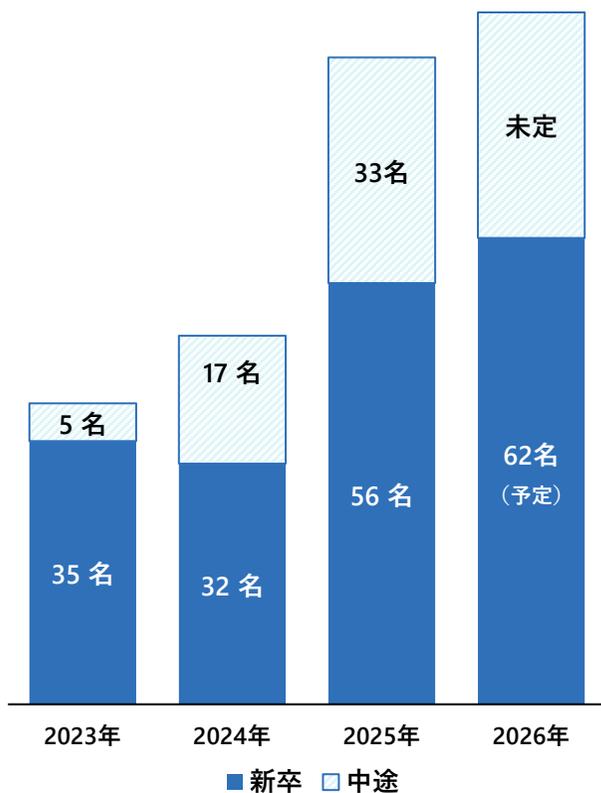


オフサイト拠点での組み立て作業

人的資本投資を加速し成長を最大化

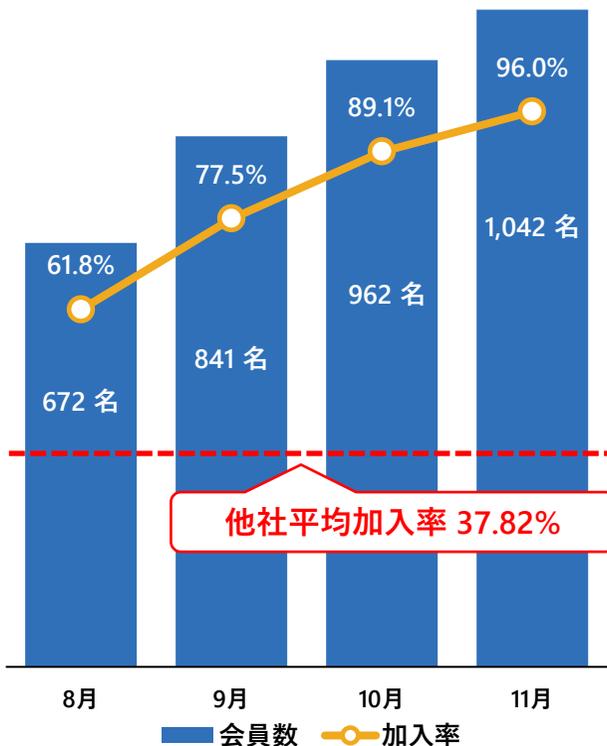
採用活動の強化

- 3年連続で採用人数増加。
- 2025年は**目標達成率150%**を予定。



持株会制度の拡充

- 従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度を導入。
- 持株会加入率 96%を達成。



エンゲージメントの向上

- 2023年度より3年連続で、全従業員に**平均約5%の賃上げ**。
- **2年連続で新卒初任給を増額**。
(大学卒：25万円→28万円→29万円)
- 2025年2月より、**成果重視の新評価制度**を導入。
- 産後パパ育休制度の利用促進。
- 若手社員交流会・勉強会の実施。



若手社員交流会・勉強会

出所：株式会社東京証券取引所「2023年度従業員持株会状況調査結果の概要について」

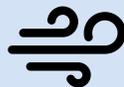
「つくば技術研究所」を核とした新たな成長ドライバー

つくば技術研究所への投資

総投資額 : 約 63 億円
開所日 : 2025年12月5日
VISION : 探求心・知的好奇心を醸成し
次世代の環境と
新事業の創出に挑戦する

研究開発の4つの領域

環境制御技術



省エネ技術



デジタル技術



アグリ技術



アグリ分野への戦略的出資

- 米国Oishii Farm Corporationと資本業務提携契約を締結。
- 植物工場の研究開発施設「オープンイノベーションセンター」(東京都羽村市)で、空調を含めた植物栽培施設工事一式を当社が受注。
- 空調ソリューションの共同研究・技術開発等により次世代のスマート農業ソリューションの創出を目指す。



最先端アグリテック企業に投資



研究開発施設の工事を受注



共同研究・技術開発を推進

【ご参考：研究開発詳細（当社ホームページへのリンク）】 [研究開発 | 空調設備工事の朝日工業社](#)

【ご参考：ニュースリリース（当社ホームページへのリンク）】 [Oishii Farm Corporationへの出資について](#)

成長基盤を支えるサステナビリティとDXへの取り組み

サステナビリティ経営

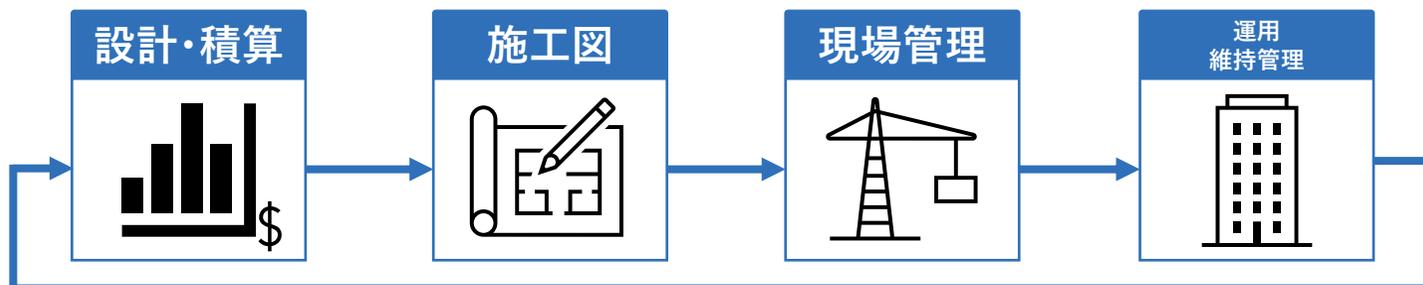
- 2050年度までに、温室効果ガス排出量を2019年度比でネットゼロとする目標が、**SBTiの認証を取得**。
- 機器事業部豊富工場への太陽光パネル設置など**自社事業活動におけるCO2排出量削減も推進**。



機器事業部豊富工場 太陽光発電設備

BIMを核とした建設プロセスのDX

- BIMを活用したDXソリューション「**ASAHIワークフロー**」により、設計～施工～運用・維持管理までの**建設プロセス全体をデジタルで一元管理**。
- 設計変更などが自動的に調達・施工へ反映される仕組み**を目指す。
- つくば技術研究所の建設現場をモデルに有効性を検証し、**全社展開を推進中**。



BIM対応の施工管理ソフト
進捗管理画面

新たな長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」

- 新たな企業理念「ASAHI-PHILOSOPHY」を基に、次の100年に向けた長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」を策定。
- スローガンは、「ワクワクする未来をカタチに ～Imagination & Creativity～」

「ASAHI-VISION 2050」実現に向けた6つの重点テーマ（マテリアリティ）

1. 世界をフィールドとし、
チャレンジ精神と確かな技術で
常にベストソリューションを提供



2. 革新的な技術で
新たな価値を創造し、
社会課題の解決に貢献



3. 脱炭素・環境負荷低減を通じて
人・地球の最適な未来を創造



4. 「人間尊重」を基本とし、
社員のエンゲージメントを向上



5. 共に成長発展していくための、
戦略的パートナーシップを構築



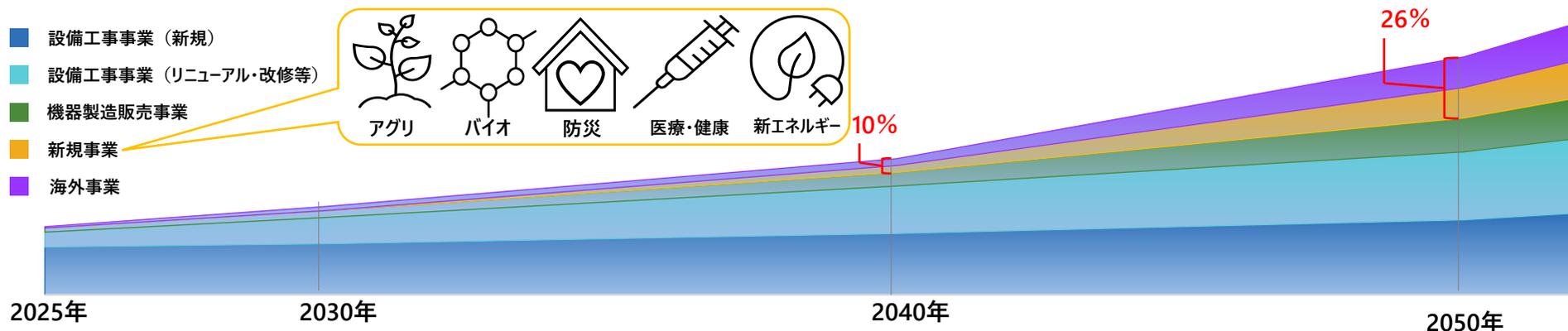
6. ガバナンスの強化と
ステークホルダーとの
積極的な対話



ASAHI-VISION 2050に向けた成長の加速

ASAHI-VISION 2050への展望

- スローガン『ワクワクする未来をカタチに』のもと、2050年の理想の姿を目指し挑戦を続ける。
- 売上的大幅拡大と、成長を支える従業員数の拡充・育成を強化。
- 売上高に占める新規事業および海外事業の割合を26%に拡大し、ポートフォリオ変革を推進。



中期経営計画

- 第18次中期経営計画の計数目標は、全項目を達成見込み。(詳細は参考資料P.36-37)
- ASAHI-VISION 2050をふまえた第19次中期経営計画は、2026年5月に発表予定。



4. 朝日工業社の業績と資本政策・株主還元

- 受注高は前期比でわずかに減少したものの計画達成、**売上総利益率は大幅に改善**。
- 営業利益以下の各段階利益も**2期連続で過去最高を更新**。

(単位：百万円)

	'23/3期	'24/3期	'25/3期		
	実績	実績	実績	前年比	増減率 (%)
受注高	86,778	97,586	93,098	△4,487	△4.6
次期繰越高	82,380	88,290	89,441	1,151	1.3
売上高	80,171	91,676	91,947	271	0.3
売上総利益	9,053	11,652	15,357	3,704	31.8
利益率	11.3%	12.7%	16.7%	4.0pt	-
営業利益	2,697	4,568	7,248	2,679	58.7
利益率	3.4%	5.0%	7.9%	2.9pt	-
経常利益	3,127	4,896	7,582	2,685	54.8
利益率	3.9%	5.3%	8.2%	2.9pt	-
親会社株主に帰属する当期純利益	2,480	3,712	6,229	2,516	67.8
利益率	3.1%	4.0%	6.8%	2.8pt	-

2026年3月期 連結業績予想（2026年2月12日に業績予想を上方修正）

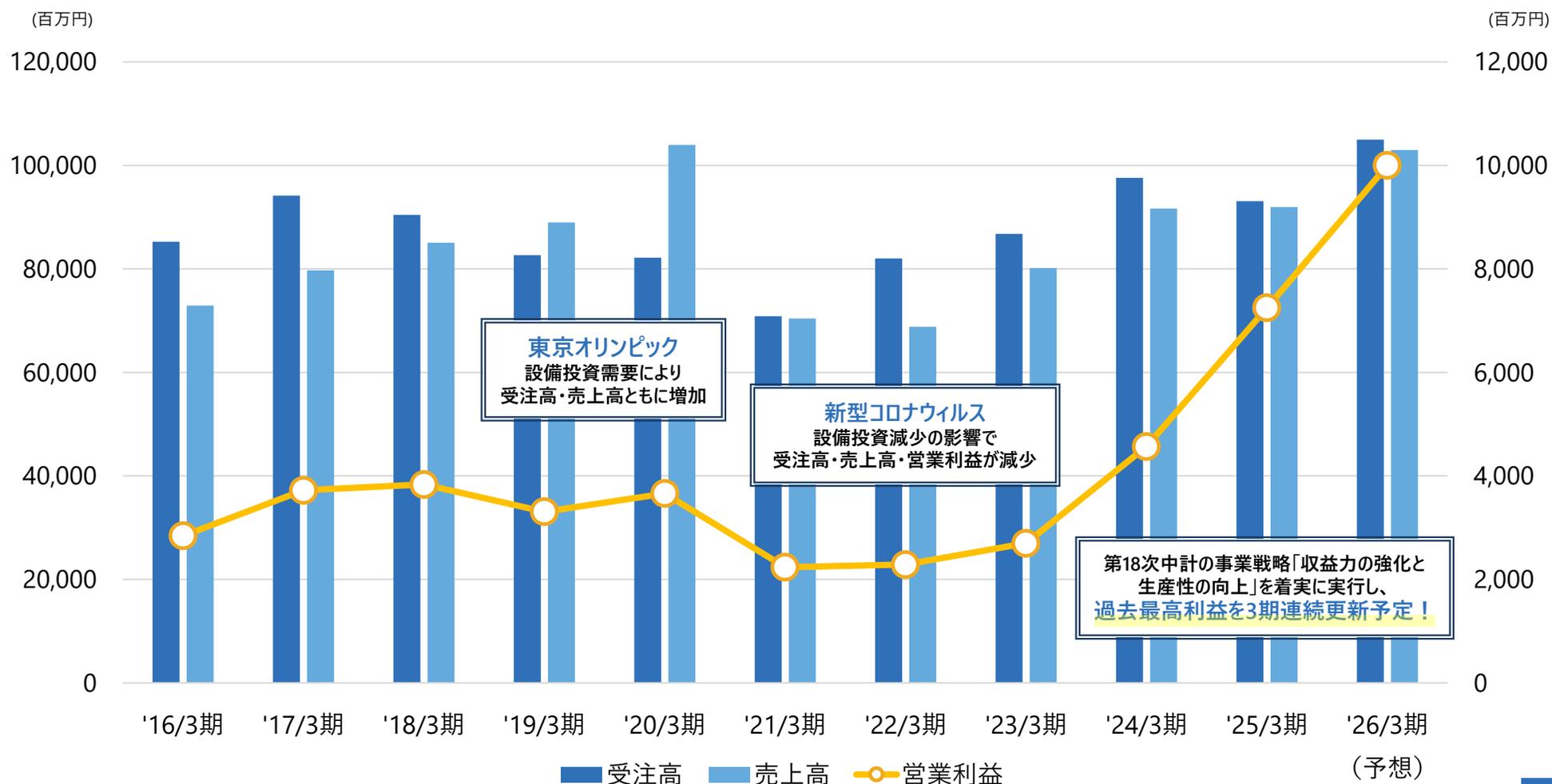
- 受注高・売上高は、**1,000億円超の達成を見込む。**
- 各段階利益は、過去最高となった**2025年3月期を大幅に上回ることを予想。**
- 2026年2月12日に全項目を上方修正。

（単位：百万円）

	'24/3期	'25/3期	'26/3期			
	実績	実績	前回予想	修正予想	前年比	増減率 (%)
受注高	97,586	93,098	100,000	105,000	11,902	12.8
次期繰越高	88,290	89,441	89,441	91,441	2,000	2.2
売上高	91,676	91,947	100,000	103,000	11,053	12.0
売上総利益	11,652	15,357	16,050	19,100	3,743	24.4
利益率	12.7%	16.7%	16.1%	18.5%	1.8pt	-
営業利益	4,568	7,248	7,450	10,000	2,752	38.0
利益率	5.0%	7.9%	7.5%	9.7%	1.8pt	-
経常利益	4,896	7,582	7,650	10,300	2,718	35.8
利益率	5.3%	8.2%	7.7%	10.0%	1.8pt	-
親会社株主に帰属する当期純利益	3,712	6,229	6,400	8,000	1,771	28.4
利益率	4.0%	6.8%	6.4%	7.8%	1.0pt	-

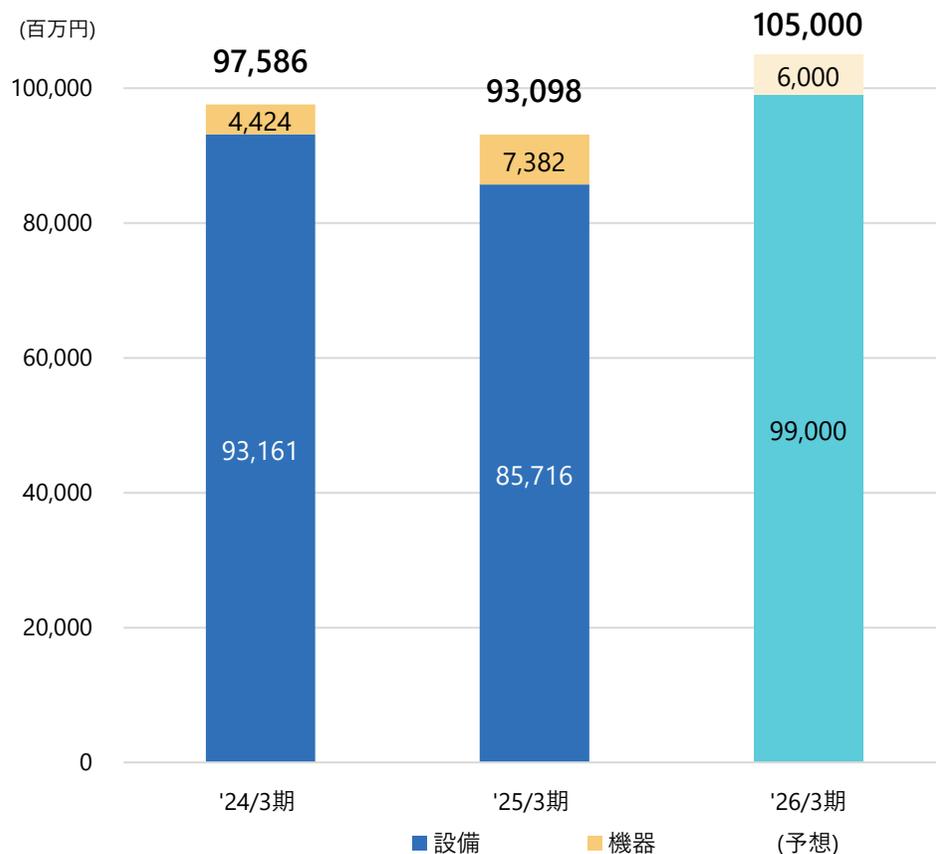
外部環境の変動はあるものの、右肩上がりに成長。3期連続で過去最高益を更新予定。

受注高・売上高・営業利益 推移

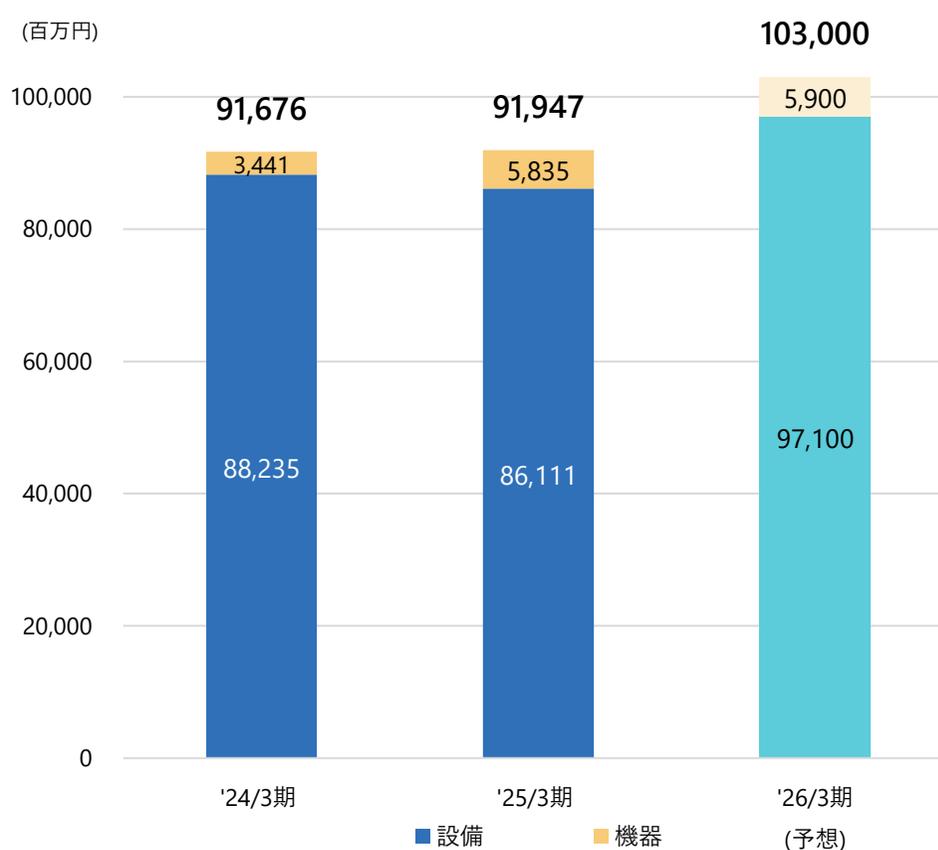


- 設備工事事業は、堅調な設備投資で、受注高・売上高ともに大幅増加を見込む。
- 機器製造販売事業の受注高は、2025年3月期の大型受注の反動で2026年3月期は減少するものの、売上高は2025年3月期の水準を維持。

セグメント別 受注高の推移



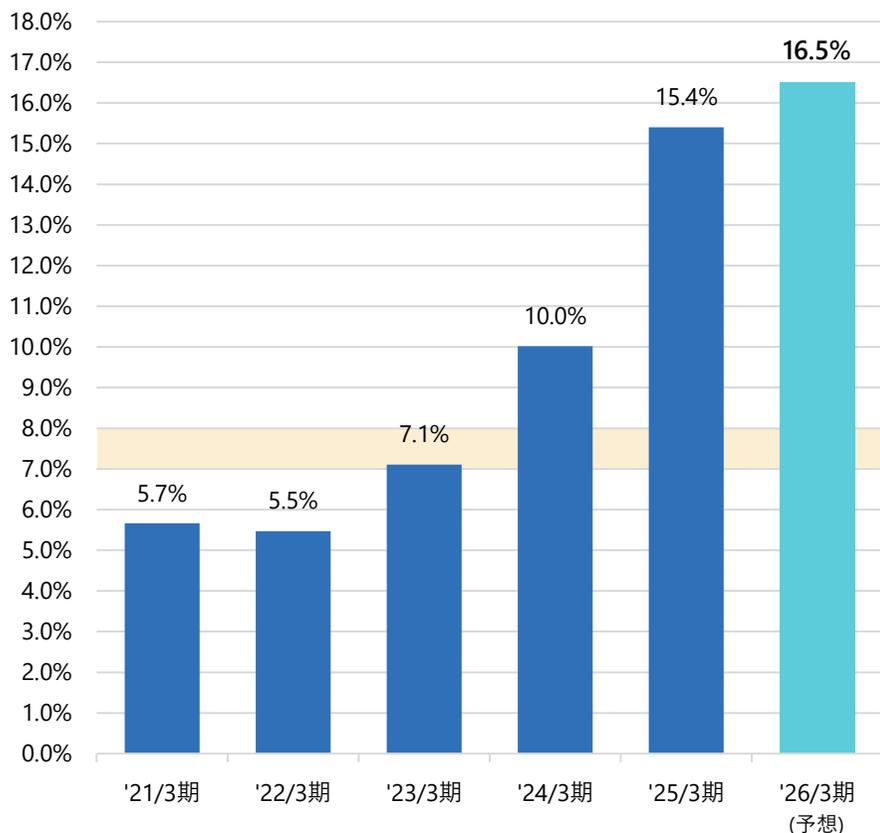
セグメント別 売上高の推移



資本コストを意識した経営の推進（過去5年間）

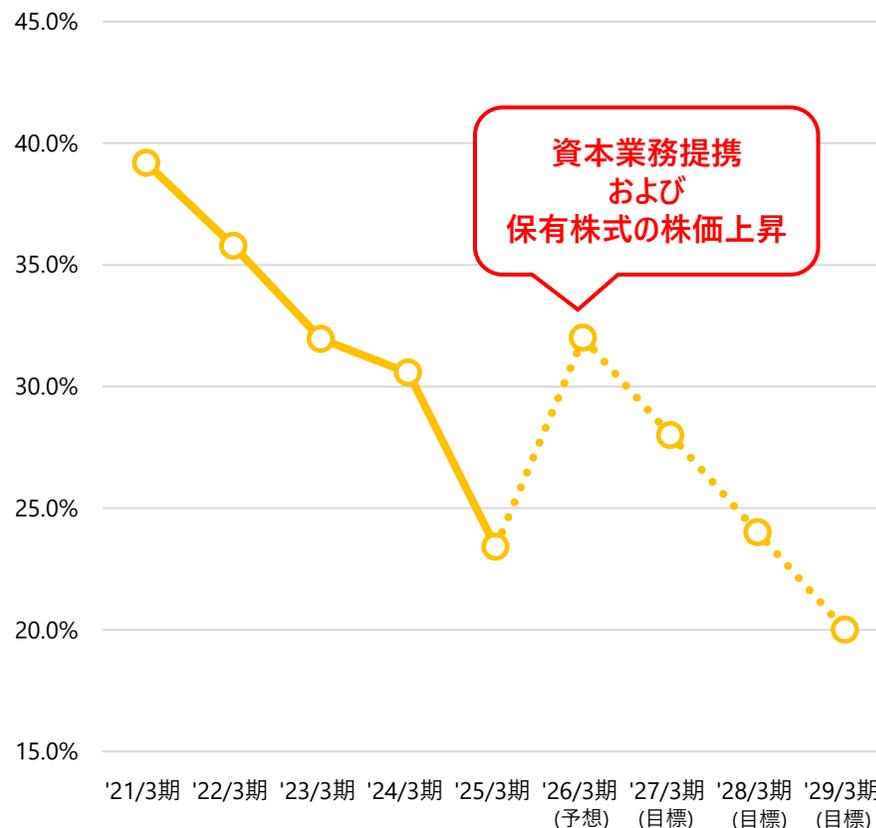
- 2026年3月期のROEは16%超となり、当社が認識している株主資本コストを大きく上回る。
- 政策保有株式は、資本業務提携および保有株式の株価上昇の関係で、純資産比32%となる見込み。次期中期経営計画期間中の縮減を目指す。

ROEの推移



注釈(1)：ページ網掛け部分は、当社が認識している株主資本コスト（7%～8%）です。

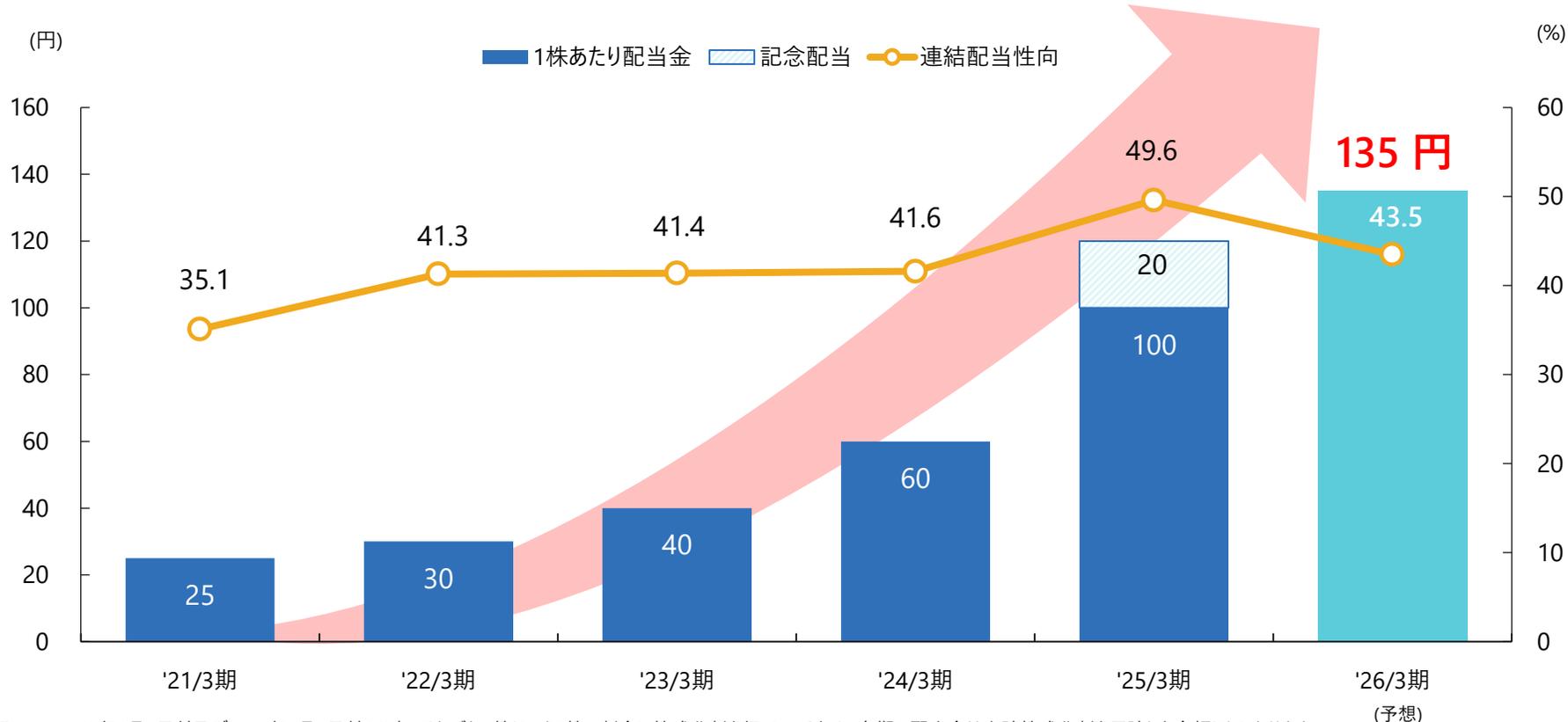
政策保有株式の縮減状況



注釈(2)：投資有価証券を純資産で除した割合を示しています。
注釈(3)：27/3期以降の数字は正式な目標値ではありません。

- 第18次中期経営計画期間中は、連結配当性向40%以上を目標とし、2025年3月期は、100周年記念配当を含む、年間配当120円（連結配当性向49.6%）を実施。
- 2026年3月期は、2月12日に年間配当100円から35円増額し135円へ配当予想を修正。前年度比15円の増配となる年間配当135円（連結配当性向43.5%）を予定。

配当金及び配当性向の推移



注釈(1)：2022年4月1日付及び2024年4月1日付の2度、それぞれ1株につき2株の割合で株式分割を行っているため、各期の配当金は当該株式分割を反映した金額にしております。

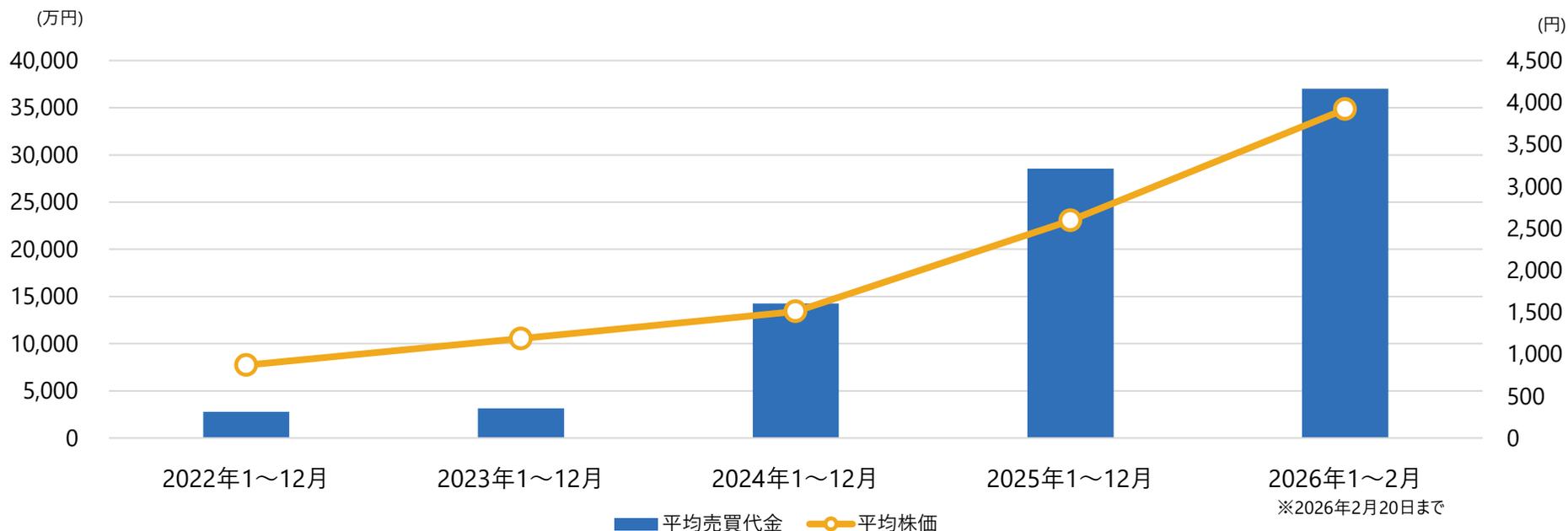
- 堅調な業績と継続的なIR施策で株価が大幅に上昇。
- さらに、2022年および2024年の株式分割により流動性も向上。

株価及び売買代金の推移

	2022/1~12	2023/1~12	2024/1~12	2025/1~12	2026/1~2
平均株価 (終値)	869円	1,186円	1,509円	2,593円	3,920円
1日平均 売買代金	2,784万円	3,147万円	14,259万円	28,550万円	37,002万円

注釈(1)：2022年4月1日付及び2024年4月1日付の2度、それぞれ1株につき2株の割合で株式分割を行っているため、各期間の株価は当該株式分割を反映した金額にしております。

※2026年2月20日まで



当社の強み

- ◎ 同業で唯一、メーカー機能(機器製造販売事業)を有し、
設備と機器の両面からお客様をサポート
- ◎ 100年で培った技術力を基に、半導体工場やデータセンターを代表とする
生産環境施設分野で強みを発揮

事業の成長性

- ◎ 直近5年間で営業利益率を大幅に改善

株価・株主還元

- ◎ 直近5年間で株価は4倍以上に上昇
- ◎ 連結配当性向40%以上を目標とした株主還元
- ◎ 2026年3月期の年間配当金は100円から35円増額し、135円を配当予定

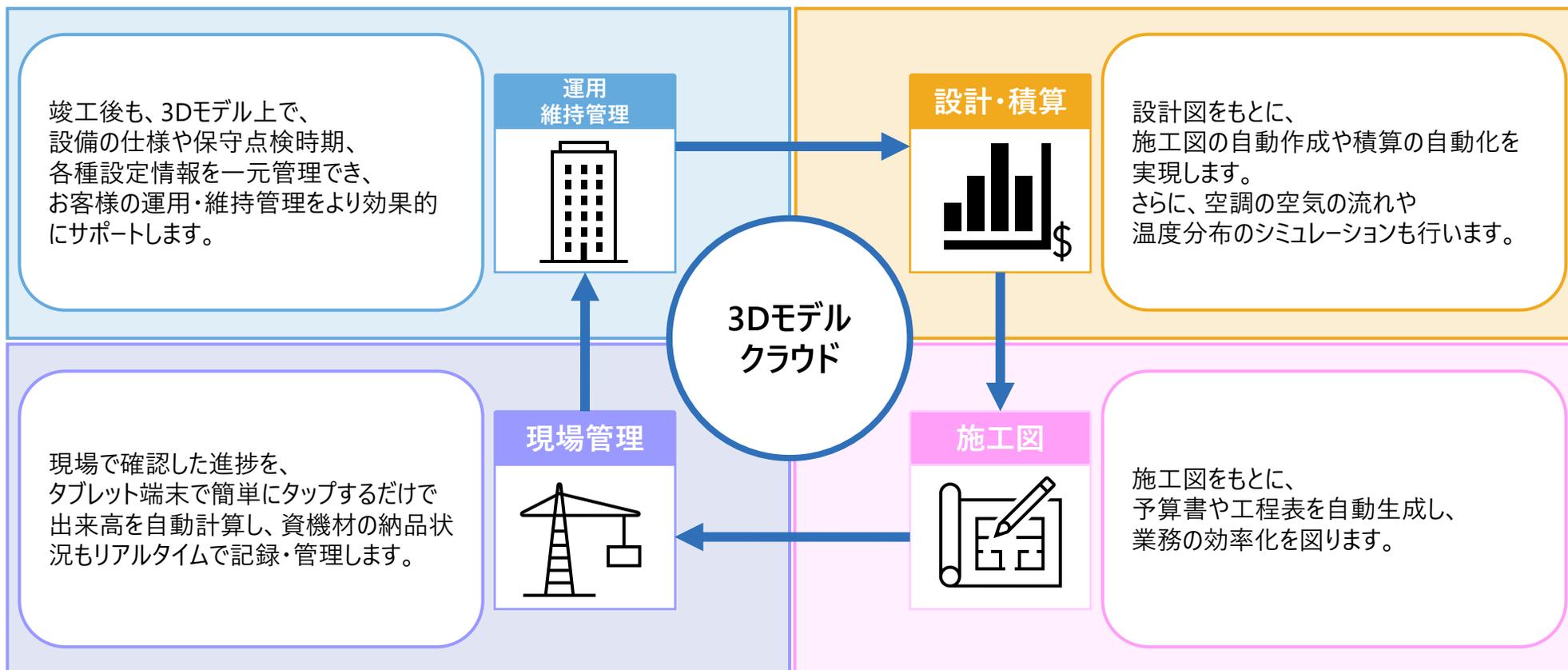


Passion & Technology
 朝日工業社

参考資料

- 3D建物モデルに、コスト・資材・管理情報などの属性データを付加し、設計から維持管理までの一連の建設プロセスで活用。
- 従来、個別で作成・管理していた図面を、関係者間でリアルタイムに共有・連携。
- クラウド管理されている3Dモデルを、タブレット型端末上のソフトを通して現場管理に活用することで、資材の納品状況や工事の進捗管理も共有・連携することが可能。

ASAHIワークフローによる一連の建設プロセス



全ての項目で達成見込み

第18次中期経営計画期間 (2023年4月～2026年3月)

第19次中計

(単位：百万円)	中計目標	'24/3期 実績	'25/3期 実績	'26/3期 業績予想	'27/3期～
連結受注高	87,500	97,586	93,098	105,000	2026年5月 公表予定
連結売上高	91,500	91,676	91,947	103,000	
連結営業利益	3,250	4,568	7,248	10,000	
連結当期純利益	2,650	3,712	6,229	8,000	
連結自己資本利益率 (ROE)	8.0%	10.0%	15.4%	16.5%	
連結配当性向	40.0%	41.6%	49.6%	43.5%	

目標を上回る進捗

ROE	目標	8.0%
	実績	2025年3月期 15.4 % (実績) 2026年3月期 16.5 % (通期予想)
株主還元	目標	1株当たり配当金 年間80円 連結配当性向 40%以上
	実績	2025年3月期 年間100円 + 20円 (100周年記念配当)
		2026年3月期 年間135円 (予定)
		2025年3月期 連結配当性向 41.3% + 8.2% (100周年記念配当) 2026年3月期 連結配当性向 43.5% (予想)
政策保有株式	目標	純資産比20%以下まで縮減
	実績	2025年3月期末時点で純資産比23.4%まで縮減 2026年3月期末時点では、資本業務提携および保有株式の株価上昇の関係で、純資産比32%となる見込み。次期中期経営計画期間中の縮減を目指す。
戦略的投資	目標	投資計画総額 約70億円
	実績	研究開発の強化、DXの推進、サステナビリティ経営や人的資本経営の推進に 合計 約95.8億円 の投資を実行済み

2026年3月期第3四半期決算概要

(単位：百万円)	'24/3期	'25/3期	'26/3期		
	3Q累計	3Q累計	3Q累計	前年同期比	増減率 (%)
受注高	84,074	65,003	80,913	15,910	24.5
次期繰越高	100,574	90,616	101,787	11,170	12.3
売上高	65,881	62,676	68,567	5,891	9.4
売上総利益	7,906	9,445	13,053	3,608	38.2
利益率	12.0%	15.1%	19.0%	3.9pt	-
販売費及び一般管理費	5,028	5,397	6,653	1,256	23.3
営業利益	2,878	4,048	6,400	2,351	58.1
利益率	4.4%	6.5%	9.3%	2.8pt	-
営業外損益	322	380	300	△80	△21.1
経常利益	3,200	4,428	6,700	2,271	51.3
利益率	4.9%	7.1%	9.8%	2.7pt	-
特別損益	6	485	468	△16	△3.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,143	3,324	4,866	1,541	46.4
利益率	3.3%	5.3%	7.1%	1.8pt	-

2026年3月期第3四半期決算概要：セグメント別受注高・売上高・営業利益

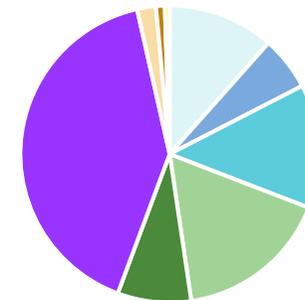
(単位：百万円)

	'24/3期	'25/3期	'26/3期		
	3Q累計	3Q累計	3Q累計	前年同期比	増減率 (%)
設備工事業					
受注高	81,128	58,992	77,406	18,414	31.2
売上高	63,650	58,705	64,646	5,940	10.1
営業利益	3,328	4,339	6,483	2,143	49.4
営業利益率	5.2%	7.4%	10.0%	2.6pt	-
機器製造販売事業					
受注高	2,946	6,011	3,507	△2,503	△41.7
売上高	2,230	3,970	3,921	△49	△1.2
営業利益	△449	△291	△82	208	-
営業利益率	△20.1%	△7.3%	△2.1%	-	-
受注高合計	84,074	65,003	80,913	15,910	24.5
売上高合計	65,881	62,676	68,567	5,891	9.4
営業利益合計	2,878	4,048	6,400	2,351	58.1

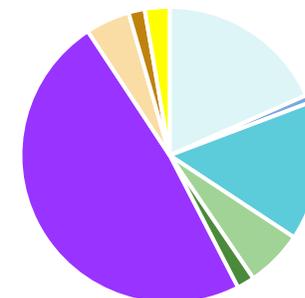
2026年3月期第3四半期決算概要：セグメント別実績 受注高

(単位：百万円)		受注高				
		'24/3期 3Q累計	'25/3期 3Q累計	'26/3期 3Q累計	前年 同期比	増減率 (%)
設備 工事	ビジネス環境施設 (事務所・官公庁舎等)	9,702	11,947	15,980	4,033	33.8
	交通・通信環境施設 (駅舎・空港施設等)	4,933	553	732	179	32.4
	生活・文化環境施設 (学校・宿泊施設等)	11,326	9,801	9,990	189	1.9
	健康・医療環境施設 (病院・介護施設等)	14,124	4,041	6,116	2,075	51.3
	流通環境施設 (倉庫・商業施設等)	6,708	1,238	2,678	1,440	116.3
	生産環境施設 (工場・研究所・データセンター等)	34,335	31,412	41,910	10,498	33.4
機器 製造 販売	FPD (液晶) 関連	1,710	3,123	2,626	△497	△15.9
	半導体関連	803	1,139	554	△585	△51.4
	ドライヤ関連他	433	1,749	327	△1,422	△81.3
合計		84,074	65,003	80,913	15,910	24.5

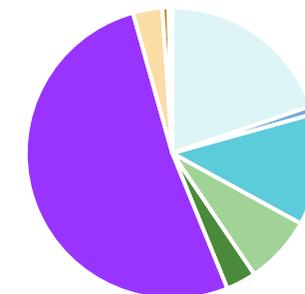
'24/3期 3Q累計



'25/3期 3Q累計



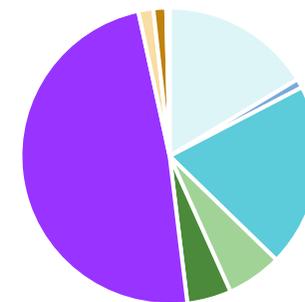
'26/3期 3Q累計



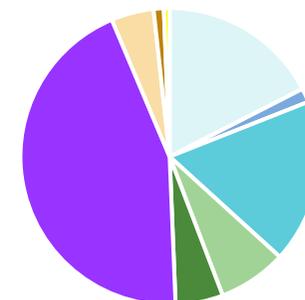
2026年3月期第3四半期決算概要：セグメント別実績 売上高

(単位：百万円)		売上高				
		'24/3期 3Q累計	'25/3期 3Q累計	'26/3期 3Q累計	前年 同期比	増減率 (%)
設備 工事	ビジネス環境施設 (事務所・官公庁舎等)	10,779	10,946	15,169	4,223	38.6
	交通・通信環境施設 (駅舎・空港施設等)	640	951	3,286	2,335	245.5
	生活・文化環境施設 (学校・宿泊施設等)	13,160	11,157	10,931	△226	△2.0
	健康・医療環境施設 (病院・介護施設等)	3,954	4,657	7,018	2,361	50.7
	流通環境施設 (倉庫・商業施設等)	3,153	3,226	2,521	△705	△21.9
	生産環境施設 (工場・研究所・データセンター等)	31,964	27,768	25,721	△2,048	△7.4
機器 製造 販売	FPD (液晶) 関連	1,074	2,888	2,818	△70	△2.4
	半導体関連	913	691	865	174	25.2
	ドライヤ関連他	243	391	238	△153	△39.1
合計		65,881	62,676	68,567	5,891	9.4

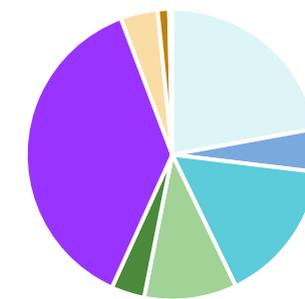
'24/3期 3Q累計



'25/3期 3Q累計



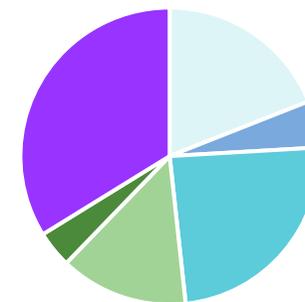
'26/3期 3Q累計



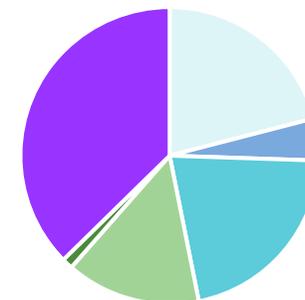
2026年3月期第3四半期決算概要：次期繰越高

(単位：百万円)	次期繰越高				
	'24/3期 3Q累計	'25/3期 3Q累計	'26/3期 3Q累計	前年 同期比	増減率 (%)
ビジネス環境施設 (事務所・官公庁舎等)	18,106	17,406	16,070	△1,336	△7.7
交通・通信環境施設 (駅舎・空港施設等)	4,838	3,795	716	△3,079	△81.1
生活・文化環境施設 (学校・宿泊施設等)	23,067	17,709	14,136	△3,573	△20.2
健康・医療環境施設 (病院・介護施設等)	13,253	12,120	9,547	△2,573	△21.2
流通環境施設 (倉庫・商業施設等)	3,797	974	930	△44	△4.5
生産環境施設 (工場・研究所・データセンター等)	32,235	31,027	53,710	22,683	73.1
合計	95,296	83,031	95,109	12,078	14.5

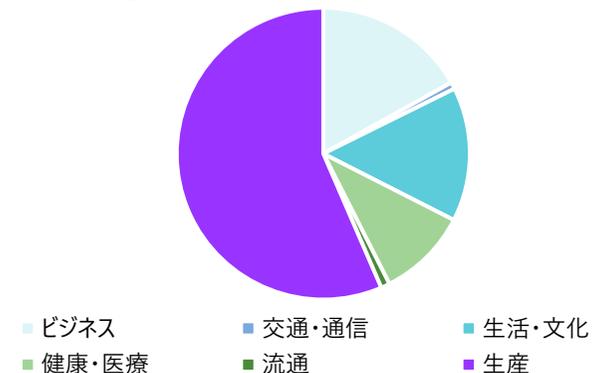
'24/3期 3Q累計



'25/3期 3Q累計



'26/3期 3Q累計



本資料は、株式会社朝日工業社の業界動向および事業内容について、株式会社朝日工業社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

株式会社朝日工業社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、2026年2月26日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社朝日工業社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。



東証プライム（証券コード：1975）

お問い合わせ先

株式会社朝日工業社 総務本部 広報・IR室

T E L : 03-6452-8181

F A X : 03-6452-8191

メールアドレス : koho-t41@asahikogyosha.co.jp